

市民生活部環境政策課

1 米子市環境審議会の開催

米子市の環境の保全及び創造に関して基本的な事項を調査審議するために、米子市環境基本条例第19条に基づき審議会を開催した。

	開催日	審議事項
第1回	令和2年2月7日	第1次米子市環境基本計画の進捗状況について 第2次米子市環境基本計画策定について（諮問）

2 米子市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく取組

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、平成28年に「米子市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定し、米子市が実施する事務事業に対し、省エネルギー化や省資源化の取組を行った。

計画期間 平成28年度～令和2年度

対象範囲 市のすべての機関が実施する事務事業

目標 平成26年度を基準年として、令和2年度の二酸化炭素排出量を5%以上削減

3 ラムサール条約登録湿地「中海」の環境保全

平成17年11月の中海のラムサール条約登録以降、官民一体となった環境保全活動を実施している。

(1) 中海アダプトプログラムへの支援

アダプトプログラムとは、市民団体や個人が公共のスペースを分担して、自分のこどものように面倒をみるという、市民と自治体が協働して進める新しいまちの美化活動である。中海アダプトプログラム実行委員会には、令和2年3月現在で66団体の登録があり、本市も行政として参加するとともに、ごみ袋の支給、回収ごみの処分、広報活動の支援を行い、市民と行政のパートナーシップのもとで環境美化を進めた。

(2) ラムサール条約登録湿地 中海・宍道湖一斉清掃の実施

中海・宍道湖がラムサール条約に登録されたことを記念し、中海等のすばらしさや大切さを再認識してもらうために中海・宍道湖沿岸5市で連携し一斉清掃活動を実施した。

実施日 6月9日（日）

実施場所 湊山公園周辺護岸

参加者人数 1,163人

ごみ収集量 約2.5トン

(3) 中海体験クルージング・中海環境フェア in よなごの実施

NPO法人中海再生プロジェクト、鳥取県、米子市の共催で、市民向け環境啓発イベントを実施した。

実施年月日 8月18日（日）

実施場所 米子港・米子食品会館

参加者人数 452人

4 公害防止対策

(1) 大気汚染

ア PM2.5などの大気汚染物質に関する注意喚起

環境基準物質などの測定を実施している鳥取県から提供される注意情報などを、市ホームページに掲載するとともに、関係部局等を通じ、市民への周知を図った。

注意喚起回数 8回

イ 野外における廃棄物焼却に関する指導

鳥取県等と連携し、広報や指導を行った。

指導回数 25回

ウ 鳥取県等と連携し、事業場立ち入り指導を行った。

指導件数 4件

(2) 水質汚濁

ア 公共用水域の水質監視

水質状況を把握するための調査を実施した。

(ア) 河川

調査河川 加茂川、法勝寺川、小松谷川、大沢川、野本川、精進川、妻木川、塩川 以上8河川

調査箇所数 11地点

総検体数 44検体

(イ) 中海

調査地点 浚渫窪地、ポンプ場沖、湊山公園沖、米子湾中央部、錦海団地沖

調査回数 4回(6月、8月、11月、1月)

イ 油類等流出事故対応

事故発生時、関係機関へ速やかに情報を伝達するとともに、オイルフェンス等により下流への流出及び拡散を防ぎ、発生源の調査を行った。

対応件数 10件

ウ 事業場排水指導

鳥取県等と連携し、事業場排水の改善について指導した。

指導件数 4件

(3) 騒音

ア 騒音測定

(ア) 環境騒音測定 7地点

(イ) 自動車騒音常時監視業務

騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、環境基準適合状況を面的に評価するために実施した。

騒音測定実施区間 7区間

面的評価区間数 114区間

面的評価区間延長 156.0km

(ウ) 航空騒音測定 1地点(通年)

(エ) 苦情等に伴う測定 2地点 延べ 4回

イ 騒音規制法に基づく届出受理

(ア) 特定施設に関するもの(設置届、変更届等を含む。)

受理数 4件

(イ) 特定建設作業に関するもの

受理数 24件

ウ 県公害防止条例に基づく届出受理

騒音関係特定施設に関するもの（設置届、変更届等を含む。）

受理数 4件

エ 事業場立ち入り指導 12件

(4) 振動

ア 振動測定

苦情に伴う測定 2地点 延べ 3回

イ 振動規制法に基づく届出受理

(ア) 特定施設に関するもの（設置届、変更届等を含む。）

受理数 2件

(イ) 特定建設作業に関するもの

受理数 17件

ウ 事業場立ち入り指導 5件

(5) 悪臭

ア 臭気測定回数（事業場） 2回

イ 事業場立ち入り指導 7件

5 公害等苦情処理

(1) 苦情相談の対応状況

苦情の種類	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	廃棄物投棄	害虫	動物	その他	合計
対応件数(件)	29	21	2	22	7	1	42	1	35	50	39	249

6 ヌカカ被害軽減対策

(1) ヌカカに関する各種調査の実施

ア 発生状況調査（協力：米子工業高等専門学校）

米子工業高等専門学校が実施された採集調査の結果をもとに、発生の時期や時間帯を把握した。

イ 被害状況調査（協力：左野皮膚科）

医療機関の受診者数を調査することにより、ヌカカ被害状況を調査し、発生状況との関連性を把握した。

(2) 被害軽減のための情報提供

市ホームページ及び市報により、各種調査結果や被害予防方法を広報し、注意を喚起した。

(3) 虫よけ剤の普及啓発

新規有効成分を含む虫よけ剤を弓浜地区の保育園、幼稚園、小中学校などに配布し、使用を推奨した。

(4) 発生源対策の推進

これまでの発生状況調査の結果を踏まえ、発生数が最も多い傾向がある彦名地区を対象として、幼虫を駆

除し、成虫の発生を抑制するため、発生土壌対策のモデル事業を実施した。

ア モデル地区 彦名地区

イ 補助事業者 自治会、土地所有者

ウ 実施面積 約600アール

7 分析業務

(1) 水質試験

ア 河川 44検体

イ 水鳥公園 24検体

ウ 湊山公園 5検体

エ 他課からの依頼試験の実施

(ア) 下水処理施設関係 976検体

(イ) 王子製紙関係 5検体

(ウ) 崎津承水路関係 72検体

(エ) 樋口川・加茂新川関係 30検体

8 環境放射線モニタリング関係

鳥取県が設置した島根原発UPZ30km圏内の放射線監視局の測定データ等を、市民課ホールモニター画面及び米子市ホームページにより住民への情報提供を行った。

9 主な環境保全事業

(1) 環境月間行事（6月1日～6月30日）

CO2削減/ライトダウンキャンペーン2019

地球温暖化防止のためにライトアップ施設や家庭の電気を消していただくよう広く呼びかけを行う「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」を実施した。

実施日 6月26日（水）午後8時から午後10時

7月7日（日）午後8時から午後10時

実施場所 山陰歴史館

(2) 米子市環境美化活動奨励

環境美化活動の高揚を図るため、地域の環境美化に功労のあった1団体及び個人3名に対し感謝状を贈呈した。

期日・場所 11月11日（月） 米子市役所401会議室

(3) 環境美化促進月間

ア 期間 9月1日～10月31日

イ 清掃活動

加茂川一斉清掃 実施日 10月27日（日）

(4) なかうみ環境学習事業

市内の小学校が米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンターで行う中海環境学習に係る交通費を負担することで、中海についての学習機会の確保を図った。

実施校数 19校
参加児童数 1,130人

1.0 環境美化推進団体の育成

加茂川を美しくする運動連絡協議会

(1) 構成 29人（団体代表者）

(2) 主な活動内容

ア 加茂川一斉清掃（春秋 年2回）

イ 花壇整備 つつじ補植

1.1 地球温暖化防止対策事業

(1) エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）

市有施設の年間のエネルギー使用量（原油換算値）が1500キロリットル以上であることから、省エネ法に基づき、平成22年に国から特定事業者指定され、同年からエネルギー使用量を国へ報告している。

ア 平成30年度エネルギー使用量（原油換算値）

米子市（市長部局） 4,822キロリットル

米子市（教育委員会部局） 1,811キロリットル

米子市（水道局） 2,104キロリットル

イ 令和元年7月 定期報告書及び中長期計画書を中国経済産業局、中国地方整備局、中国四国農政局、中国四国厚生局、中国四国地方環境事務所、文部科学省へそれぞれ提出した。

(2) 鳥取県地球温暖化対策条例

鳥取県地球温暖化対策条例に基づき、温室効果ガス排出量の目標、目標達成のための取組を含む「取組計画（3年分）」の提出及び計画達成状況を平成22年から県へ報告している。

ア 平成30年度 温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）

米子市（市長部局） 10,721トン

温室効果ガス排出量算定に用いた調整後排出係数は、中国電力（株）は0.677トン・CO₂/千キロワットアワー及びローカルエナジー（株）は0.548トン・CO₂/千キロワットアワーを使用。

イ 令和元年7月 事業者達成状況報告書を鳥取県へ提出した。

(3) 急速充電器整備事業

米子市役所第2庁舎に設置している急速充電器の維持管理を行った。

1.2 米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンターの管理運営

市民と自然とのふれあいの場及び市民の環境学習の場の提供を目的として、平成7年10月22日から本施設を供用開始している。一般市民を対象とした自然観察会や自然教室、夏休みを利用した子ども講座などの各種普及啓発事業を実施した。

(1) 施設管理委託先

ア 指定管理者 公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団

イ 指定管理料 42,166,000円

(ネイチャーセンター入館者実績)

(人)

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
人 数	1,520	1,963	2,028	1,149	1,198	1,467
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
2,435	2,719	1,762	2,923	2,155	1,511	22,830

(2) 米子水鳥公園内の水質検査を実施した。

ア 調査項目 全窒素、溶存酸素等 6 項目

イ 調査回数 年 3 回

ウ 調査箇所 つばさ池ほか／3 地点

(3) こどもエコクラブ

子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的とし、市内の小学生を対象に募集し、「米子市こどもエコクラブ」として、下記の活動を実施した。

ア 昔の中海の貝殻標本をつくろう

実施日 5 月 1 8 日 (土)

実施場所 米子水鳥公園

参加人数 1 9 人

イ 水鳥公園で野鳥観察

実施日 1 1 月 1 6 日 (土)

実施場所 米子水鳥公園

参加人数 1 2 人

ウ その他の活動

大山でいきもの観察会、中海体験クルージング・中海環境フェア in よなごへの参加、宍道湖周辺で自然観察会、ゴズ釣り など

1.3 米子市市有施設の屋根貸しによる太陽光発電普及事業

自然エネルギーの利用促進、民間活力をいかした公共施設への太陽光発電設備の効率的な整備、災害等の停電時における非常用電源としての活用及び環境やエネルギーに対する市民意識の向上を目的として、米子市市有施設の屋根貸しによる太陽光発電普及事業を平成 2 5 年度 (第 1 回) 及び平成 2 7 年度 (第 2 回) と実施しており、8 施設で稼働している。

事業者及び施設

中海テレビ放送(株) 車尾小学校、加茂中学校、大高公民館、湊山中学校

ミヨシ産業(株) 東山中学校

東洋ソーラー(株) 尚徳中学校、市立図書館

ワンプライム.(株) 福生西小学校

1.4 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用助成事業

飼い主のいない猫の増加を抑えるため、飼い主のいない猫に不妊去勢手術を受けさせる者に対して、手術費用の 2 分の 1 に相当する額 (1 匹当たりの限度額 1 万円) を助成した。

補助対象件数（件）	補助金額（円）
85	588,200

1.5 犬の登録及び狂犬病予防注射事業

狂犬病予防法に基づく犬の登録及び狂犬病予防注射済票の交付を行った。また、鳥取県獣医師会の協力を得て市内34会場で集合注射を実施した。

新規登録頭数	登録抹消 (死亡等) 頭数	総登録頭数	集合注射頭数 (予防注射済票 交付頭数)	個別注射頭数 (予防注射済票 交付頭数)	総予防注射済票 交付頭数
433頭	485頭	6,122頭	615頭	3,765頭	4,380頭